

川西市市民体育館建替え整備方針（案）

平成24年11月

川 西 市

目 次

1 施設の現況整理と市民・利用者の意向把握

1 - 1 市民体育館に関する現況データ

1-1-1 施設の位置	1
1-1-2 施設の概要	2
1-1-3 川西市における運動施設の立地状況	3
1-1-4 市内の体育館の利用状況	4
1-1-5 市内の体育館の稼働率	5
1-1-6 市民体育館の大会利用	5
1-1-7 市民体育館周辺における公共施設の立地状況	6
1-1-8 市民体育館周辺における災害時避難場所の状況	6

1 - 2 市民・利用者の意向

1-2-1 利用意向調査の概要	7
1-2-2 市民アンケートの結果（概要）	8
1-2-3 市民体育館利用者アンケートの結果（概要）	9
1-2-4 利用団体ヒアリングの結果（概要）	10
1-2-5 指定管理者ヒアリングの結果（概要）	11

2 建替え整備に向けた課題

3 建替え整備方針

4 施設整備基本計画

4 - 1 土地利用の方向性

4-1-1 計画地の現況把握	14
4-1-2 土地利用の方向性	15

4 - 2 施設整備基本計画の考え方

4 - 3 各部門・機能別の基本計画

4 - 4 施設整備費の概算

4 - 5 施設整備スケジュール

1 施設の現況整理と市民・利用者の意向把握

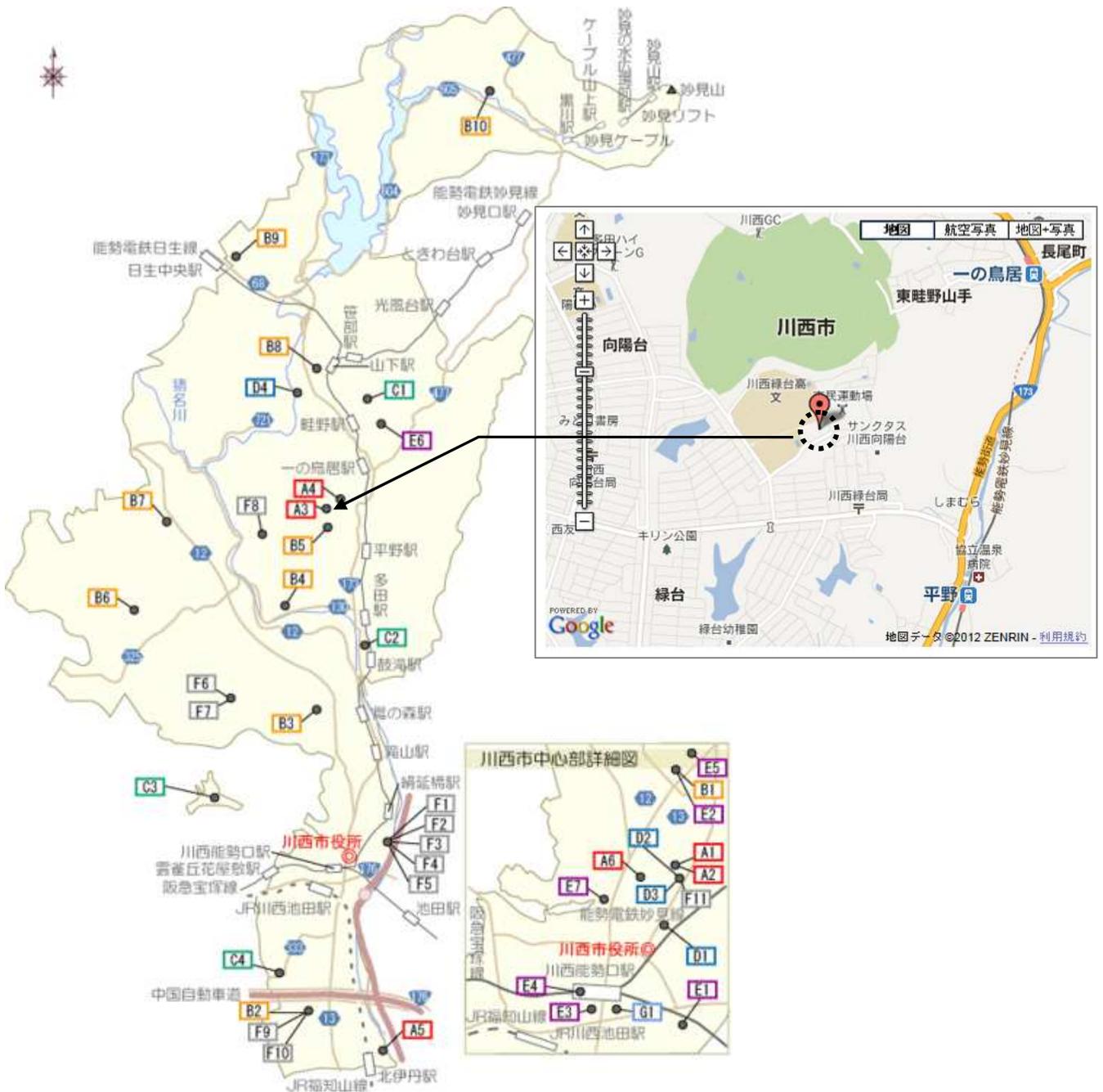
1-1 市民体育館に関する現況データ

1-1-1 施設の位置

市民体育館は市域中央部の緑台小学校区内に位置しています。公共交通アクセスについては、能勢電鉄・平野駅より北西へ徒歩約20分の位置にあります。

< 施設位置図 >

【所在地】川西市向陽台 1 - 1 1 - 1



1-1-2 施設の概要

市民体育館は、昭和47年に開設された本市で最も古い社会体育施設となっています。現在、施設の運営は指定管理者である「公益財団法人川西市文化・スポーツ振興財団」により行われています。

以下に施設の規模・仕様、開館時間、使用料等の概略を整理します。

<市民体育館の概要>

施設名称	川西市市民体育館						
所在地(交通)	川西市向陽台1-11-1 (能勢電鉄・平野駅より北西へ徒歩約20分)						
所管課 (指定管理者)	市民生活部地域活性室スポーツ課 (指定管理:公益財団法人川西市文化・スポーツ振興財団)						
開設日	昭和47年12月23日						
構造・階数	鉄筋コンクリート造2階地下1階 大屋根鉄骨						
敷地面積	6,460 m ²						
建築面積	1,923.9 m ²						
延床面積	2,480.9 m ²						
主要施設	主競技場	面積: 26.3m × 35.4m = 931.02 m ² , 高さ 10.8m ~ 12.3m 客席: 282席 床面: タラフレックス直貼り床 利用種目: バスケットボール1, バレーボール3, 卓球20, バドミントン6, 体操競技, 健康体操, インディアカ, エアロビクス, フォークダンス, ジャズダンス等					
		武道場 (兼会議室)	面積: 84 m ² ・50畳 会議使用時60席 利用種目: 柔道, 少林寺拳法, 健康体操, ヨーガ, 空手道, 幼児・児童体操, スポーツに関する会議等				
駐車場	約100台(市民運動場と共用)						
開館時間	1月4日~12月28日(月~金 9時-21時/土・祝日 8時-21時/日 8時-17時)						
専用使用料 (2時間あたり)	主競技場	平日	17 時 ま で	2,800円	17 時 以 降	4,800円	主競技場半面利用時は半額 個人使用は卓球・バドミントンのみ
		土日祝		3,360円		5,760円	
個人使用料 (1時間あたり)	武道場 (兼会議室)	平日	300円	500円			
		土日祝	360円	600円			
	高校生以上	平日	100円	200円			
		土日祝	120円	240円			
中学生以下	平日	50円	100円				
	土日祝	60円	120円				



主競技場

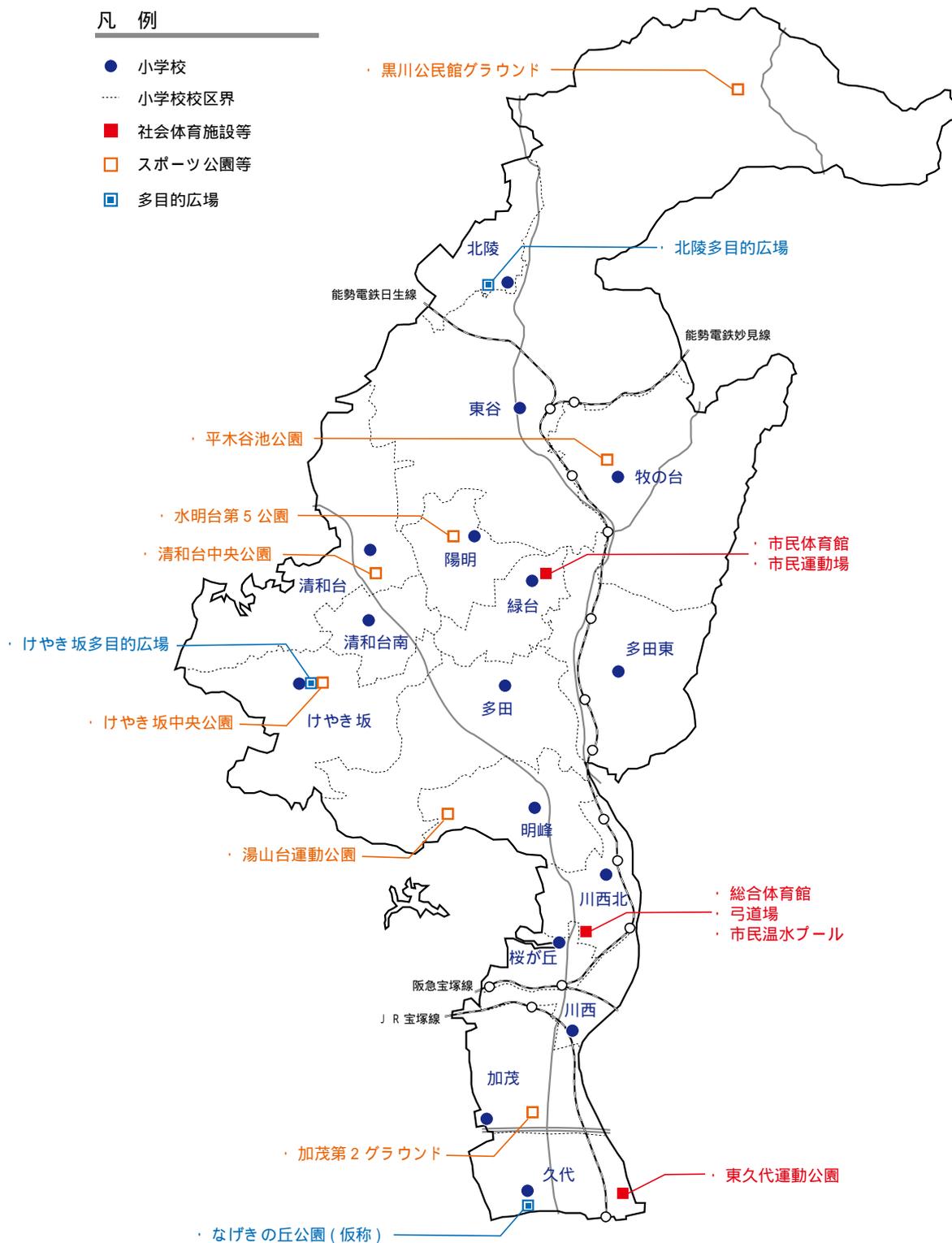


武道場兼会議室

1 - 1 - 3 川西市における運動施設の立地状況

本市には、市民体育館以外の社会体育施設として、総合体育館、市民運動場、市民温水プールなどの施設があります。また、一部の小学校区では多目的広場等を整備しています。このほか、小学校体育施設の開放利用事業により、既存施設を活用したスポーツ環境の充実を図っています。

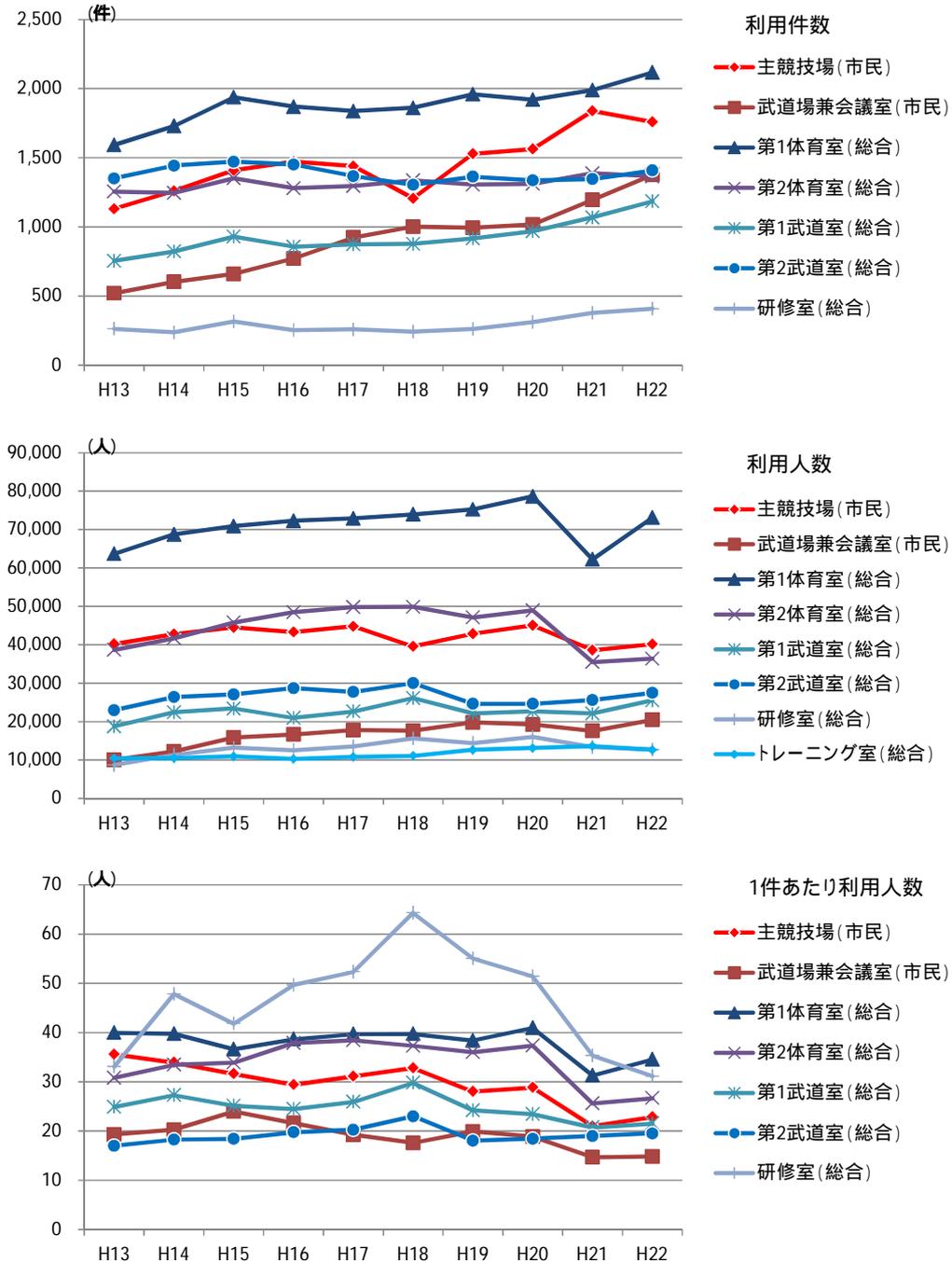
< 運動施設の立地状況 >



1-1-4 市内の体育館の利用状況

総合体育館第1体育室が利用件数・人数とも最多であり、1件当たり40人程度の利用人数となっています。市民体育館主競技場と総合体育館第2体育室は利用人数で見ると同程度となっています。市民体育館の利用件数は増加傾向にありますが、1件当たりの利用人数はやや減少傾向となっています。

< 市内の体育館の利用状況 >



(川西市統計要覧)

市民体育館・主競技場の修繕等による閉鎖：H13年12/3～12/28、H14年12/16～12/28、H18年10/18～12/28

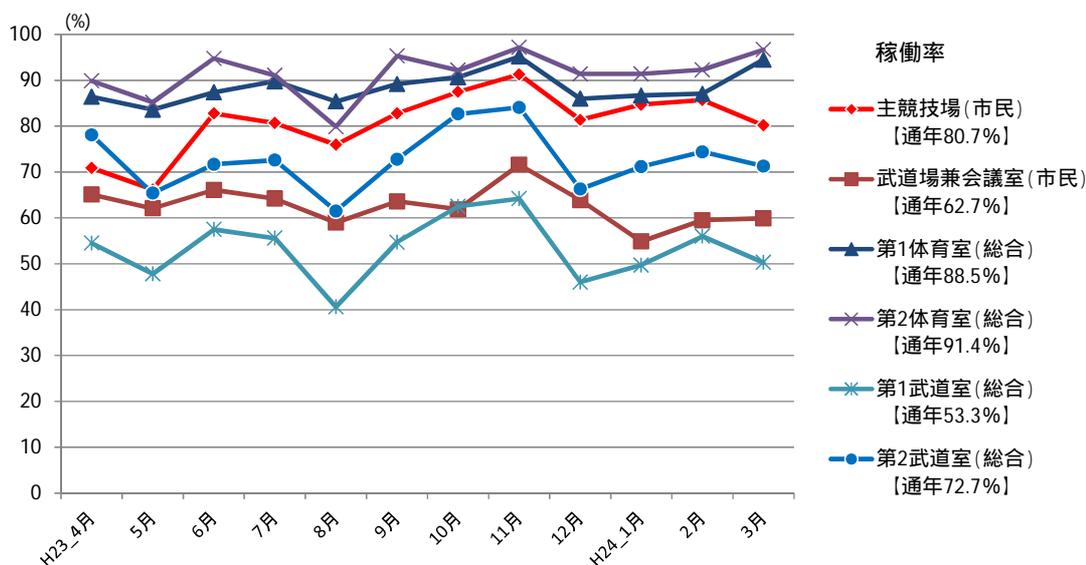
総合体育館・第1体育室の修繕等による閉鎖：H21年1/19～2/28

市民体育館・主競技場、総合体育館・第1体育室は個人使用分も含む

1-1-5 市内の体育館の稼働率

各施設とも春と秋を中心に稼働率が高い傾向となっています。総合体育館の第2体育室の稼働率が最も高くなっており、同第1体育室が次いでいます。市民体育館については、主競技室が年間8割程度、武道場兼会議室が6割程度の稼働となっています。また、武道室について見ると、フローリング床の総合体育館第2武道室の稼働は7割程度で、畳敷の第1武道室や武道場兼会議室を上回っています。

< 市内の体育館の稼働率の状況 (H23年度) >

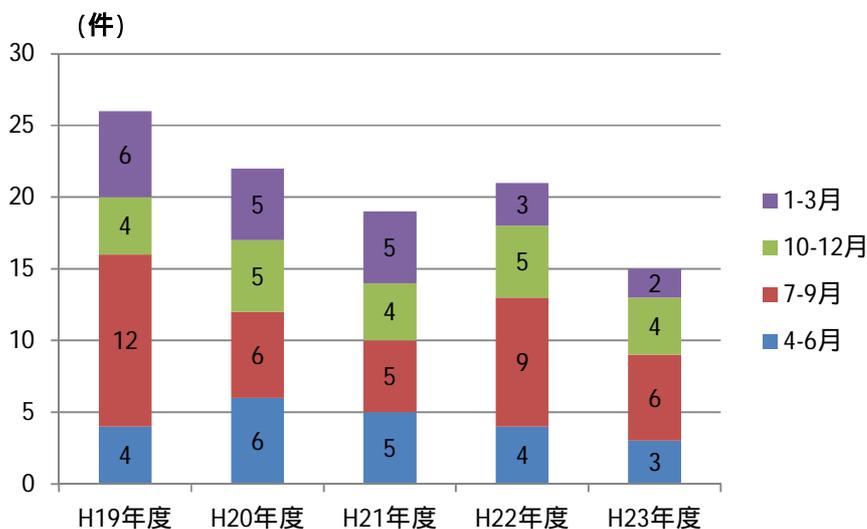


(川西市文化・スポーツ振興財団資料)

1-1-6 市民体育館の大会利用

市民体育館での大会利用件数は20件前後で推移し、平成19年度から見るとやや減少傾向にあります。利用時期は年度によってばらつきがあるものの、概ね7月から9月の間での利用件数が多くなっています。

< 市民体育館の大会利用 >



(川西市文化・スポーツ振興財団資料)

1 - 1 - 7 市民体育館周辺における公共施設の立地状況

周辺での公共施設として、向陽台1丁目に緑台公民館が設置されています。また、市民体育館敷地に隣接して緑台小学校が、北西約1キロの場所に陽明小学校があり、学校体育施設の開放事業により、同校の体育施設を利用することも可能となっています。

1 - 1 - 8 市民体育館周辺における災害時避難場所の状況

市民体育館は風水害時、地震時における避難場所指定を受けた施設です。このほか、体育館周辺では、多田中学校、緑台小学校、陽明小学校、緑台中学校、松風幼稚園、川西緑台高校、緑台公民館、緑台老人福祉センターが同様の指定を受けています。

また、隣接する市民運動場のほか、水明台第5公園が一時避難場所の指定を受けています。

1-2 市民・利用者の意向

1-2-1 利用意向調査の概要

市民体育館の利用ニーズ・要望や運営上の課題を把握し、施設整備基本計画に反映させることを目的として、下記要領によりアンケート・ヒアリング調査を行いました。

調査にあたっては、意見をバランス良く把握するため、市民全体（非利用者含む）から体育館利用者までの幅広い層を対象としました。

<アンケート・ヒアリング調査の概要>

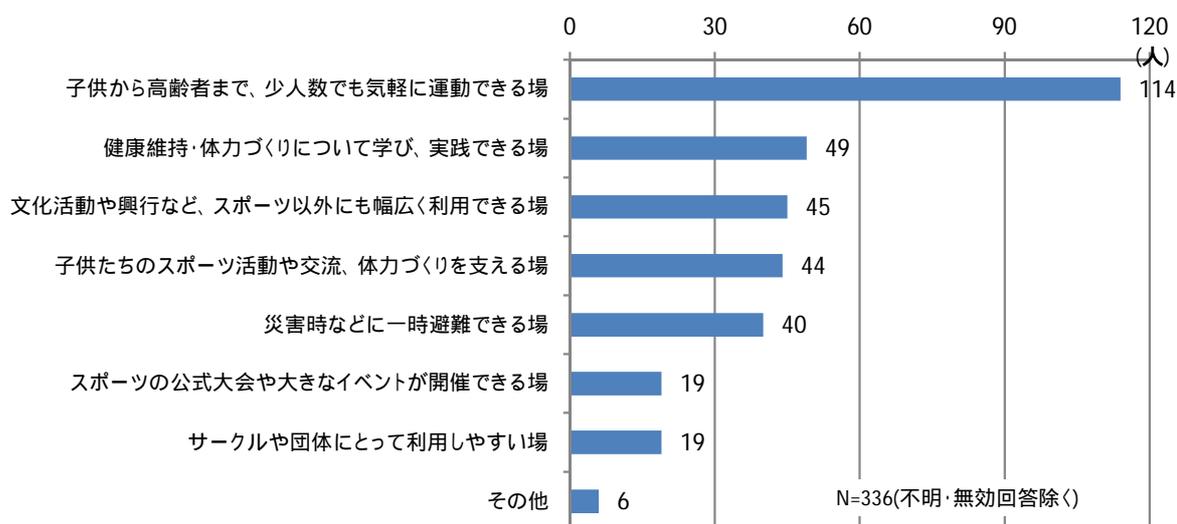
対象	市民全体	現施設の利用者	現施設の管理・利用団体
目的	・スポーツや健康づくりに対する市民の基礎的ニーズ把握 ・潜在利用需要も含めた施設へのニーズ把握	・利用者から見た施設に対するニーズの把握	・施設管理者から見た施設の課題把握 ・高頻度利用者から見た施設の課題とニーズの把握
調査方法	アンケート (郵送配布・回収)	アンケート (市民体育館窓口への留置き)	団体代表者へのヒアリング
対象	16歳以上市民 1,000人	市民体育館利用者	・川西市文化・スポーツ振興財団(指定管理者) ・体育館利用種目の団体(体育協会加盟)
設問項目概要	1.回答者属性 2.スポーツの取組み状況・興味 3.市民体育館の利用状況 4.市民体育館に期待する機能 (施設概要説明を添付)	1.回答者属性 2.市民体育館の利用状況 3.市民体育館に期待する機能	指定管理者 1.市の社会体育施設を取り巻く状況、課題認識 2.現施設の問題点・要望 3.管理運営上の問題点・要望 4.利用促進に向けた課題等 利用団体 1.市民体育館の利用状況 2.利用上の問題点、要望
回答数	回答者数 352人	回答者数 178人	市体育協会加盟の種目協会 17団体 川西市文化・スポーツ振興財団

1-2-2 市民アンケートの結果（概要）

（１）市民体育館に期待すること

「子供から高齢者まで、少人数でも気軽に運動できる場」が特に多くなっています。次いで、「健康維持・体力づくりについて学び、実践できる場」「子供たちのスポーツ活動や交流、体力づくりを支える場」「文化活動や興行など、スポーツ以外にも幅広く利用できる場」「災害時などに一時避難できる場」が同程度選ばれています。

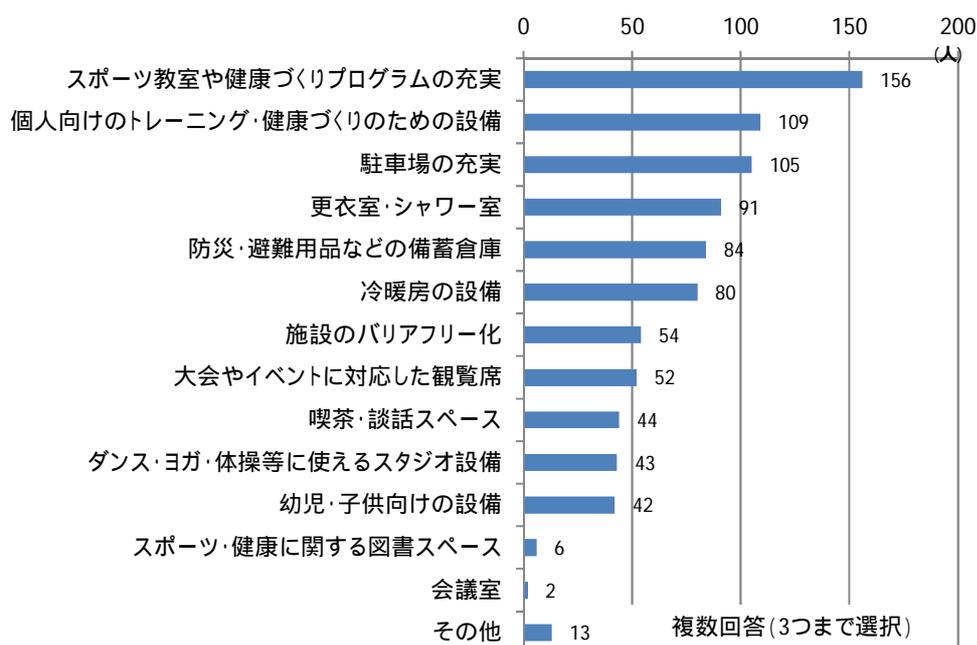
< 市民体育館に期待すること >



（２）市民体育館に必要と思われる点

各種教室等プログラムの充実がとくに選ばれているほか、個人向けのトレーニング設備、駐車場の充実などが多く挙がっています。また、冷暖房設備、更衣室・シャワー室など施設設備面のほか、防災備蓄倉庫なども多くの回答を得ています。

< 市民体育館に必要と思われる点 >

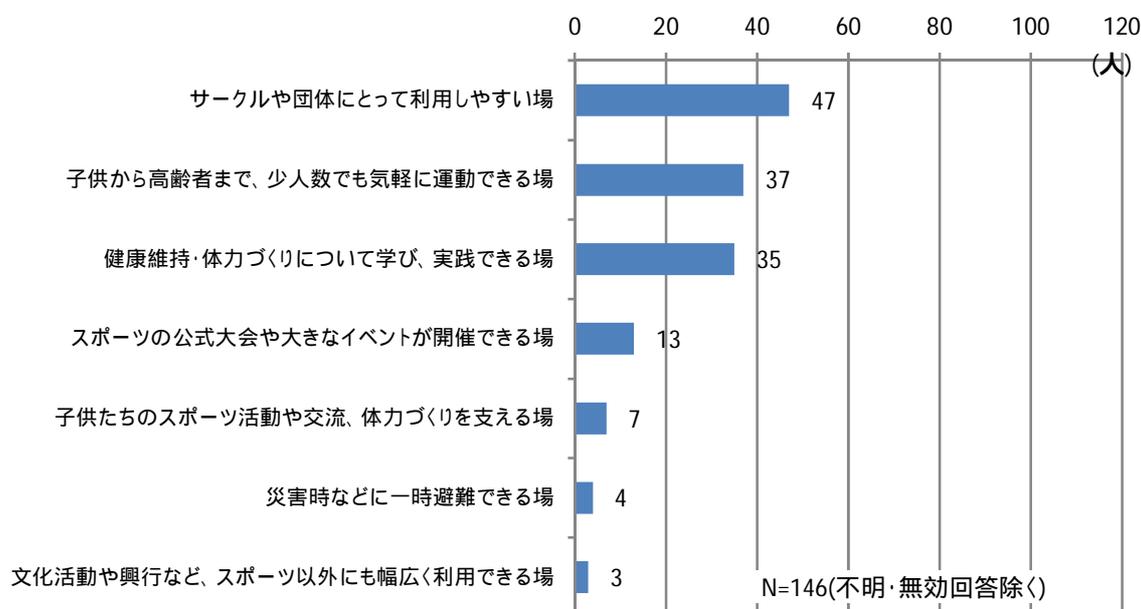


1-2-3 市民体育館利用者アンケートの結果（概要）

（1）市民体育館に期待すること

「サークルや団体にとって利用しやすい場」との回答が最も多いほか、「子供から高齢者まで、少人数でも気軽に運動できる場」「健康維持・体力づくりについて学び、実践できる場」などの回答も多くなっています。

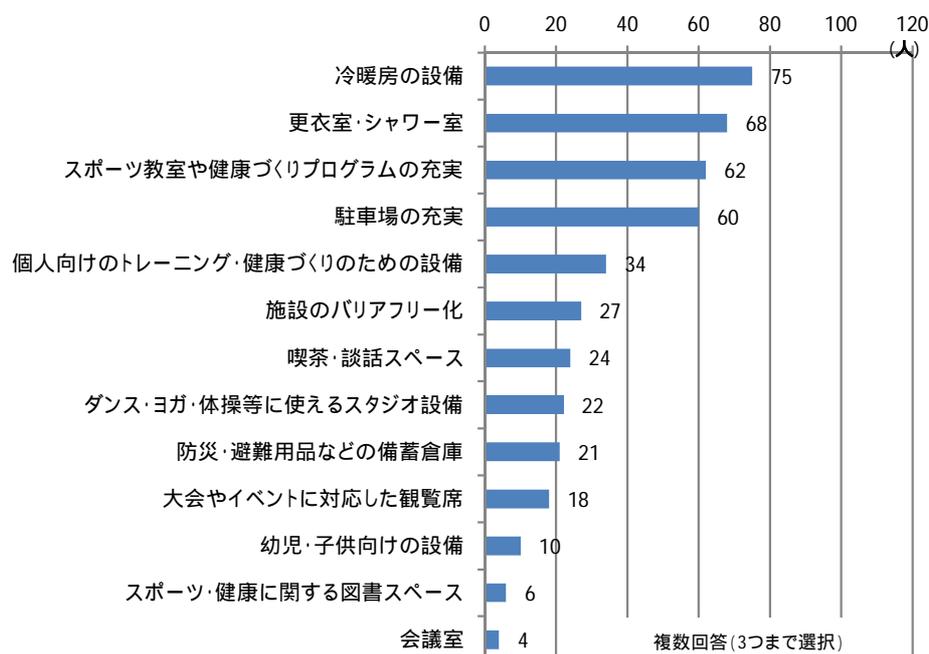
< 市民体育館に期待すること >



（2）市民体育館に必要と思われる点

冷暖房設備、更衣室・シャワー室など施設設備面が上位となっているほか、各種教室等プログラムの充実や駐車場の充実も回答が多くなっています。このほか、個人向けのトレーニング設備やスタジオ設備、喫茶・談話スペース、防災備蓄倉庫なども多くの回答を得ています。

< 市民体育館に必要と思われる点 >



1-2-4 利用団体ヒアリングの結果（概要）

各利用団体（種目協会）からの意見・要望等について主要なものを以下に整理します。

市民体育館の利用状況 建替え後の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> 各団体ともに利用目的（定期練習/大会等）や地域によって、活動場所を使い分けている（総合体育館、小学校体育館、公民館などを併せて利用）。 バレーボール、体操協会などが市民体育館を主な活動場所としている。 建替え後には利用を増やしたいとの意見も見られる。
主競技場(アリーナ)	<ul style="list-style-type: none"> 床はフローリングとする旨の要望が多い。 ステージは組立式等で対応し、その分アリーナ面積を拡大する要望が多い。 アリーナ面積は現状と同等以上が求められており、団体によっては具体的なコート面数や、競技に対応した設備設置などの要望があった。
武道場兼会議室	<ul style="list-style-type: none"> 会議室は別途設ける旨の要望が多く、総合体育館監視室のようにアリーナに隣接して配置する意見もあった。 武道場は少林寺拳法、柔道において畳が必要。ヨガ、健康体操については、マットが備品としてあればフローリングの部屋でも活動可能。 武道場の規模は現状と同等以上で、正方形の部屋が望ましい。
観覧席	<ul style="list-style-type: none"> 現状、荷物置き場、選手の控え及び着替え、見学スペースとして利用されているケースが多く、引き続き設置することが望まれている。
備品・倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 競技用備品の新調に対する要望があった。 倉庫の配置については、備品の出し入れの際に利用者間の錯綜が起きないように、動線処理を工夫する必要がある。
設備(照明・空調・音響)	<ul style="list-style-type: none"> 照明は現状では暗いとの指摘が多い。 空調設備については、とくに夏場の冷房など設置要望が多い。 大会に対応した館内放送設備への要望があった。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 規模拡大を求める意見が多いほか、建替え工事中における臨時駐車場の有効利用や、大会混雑時の流入規制などに関する意見があった。
その他必要な機能など	<ul style="list-style-type: none"> 救護室、防災倉庫、キッズスペース、ロビー兼ミーティングスペース 等

1-2-5 指定管理者ヒアリングの結果（概要）

指定管理者からの意見・要望等について主要なものを以下に整理します。

川西市の社会体育施設を取り巻く状況、課題認識など	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用予約における競争率は高く、近隣他市町も含め、地域住民のスポーツ施設の量的充実が必要な状況。 ・総合体育館第2武道室（フローリング）は武道のほか体操・ダンスなど多種目に利用されており、第1武道室（畳）に比べ利用が集中している。 ・公式競技大会が開催されている総合体育館や他市施設と比較して、市民体育館にそこまでの規模を求めることは困難であるが、可能な限り、市内大会、阪神大会レベルの開催がスムーズにできる施設を目指すべき。 ・市民体育館は立地上、猪名川町民の利用も見られ、利用促進を図る中で考慮していく必要がある。具体的には駐車場の確保など、車でアクセスに対応した環境整備などがあげられる。 ・平日昼間が繁忙な学生や社会人などに対しては、一般利用枠での利用促進が重要であるが、利用希望が集中する土日祝においては団体優先使用が中心となるために一般開放は不可能。建替えにあたり、個人で都合の良い時間に利用できる施設の拡充も望まれる。 ・学校体育施設開放事業との役割分担として、市民体育館は全市的な大会開催、社会人等のグループ利用、高齢者や子供・女性を対象とした身近なスポーツ教室開催といった役割を担うことが考えられる。 	
市民体育館の施設や運営面に関する問題点・要望	
主競技場(アリーナ)	<ul style="list-style-type: none"> ・LED灯の採用や自然採光の導入など、照明環境の改善が必要。 ・ステージは不要であり、アリーナ面積の拡大が必要。 ・フットサル用防球ネットなど、競技種目に対応した設備の導入が必要。
武道場兼会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室と武道場は個別に確保すべき。会議室は30人規模。 ・壁収納型ミラーの設置要望がある。
観覧席	<ul style="list-style-type: none"> ・規模は200席程度で、フロアと同じ階への設置が希望されている。
シャワー・更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナと同じ階に設置し、利用促進する（現状ほとんど利用なし）。
事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナの監視が容易となる工夫（アリーナへの隣接配置、監視モニター設置）が必要。
備品・倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用緊急物資の保管庫と、車両搬入口を確保する。
設備（照明・空調・音響）	<ul style="list-style-type: none"> ・照明は昇降式に、空調や放送設備は事務所集中制御とし、維持管理運営に配慮。 ・なお、空調は空調料金加算が必要なため、室単位での制御可能とする。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝は慢性的な満車状態であり、立体化も含め、台数の増加が必要。有料化も要検討。 ・工事中における駐車場対策には万全を期す必要がある。
管理運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・建替えに伴う料金改定や空調料金の新設、昼夜区分の廃止など料金体系の見直しが必要。 ・建物の長期にわたる修繕・メンテナンス計画が必要。

2 建替え整備に向けた課題

施設の現況、市民・利用者へのアンケート・ヒアリング結果等を踏まえ、建替え整備に向けた課題を以下の通り整理しました。

<p>市民体育館の 利用実態より</p>	<p>日常的な市民スポーツ活動の受け皿としての役割を今後とも担っていく必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体やサークルなどの日常的な活動拠点として利用されており、今後ともそういった利用ニーズに応えていく必要がある。 <p>他施設との役割分担を踏まえて施設の規模・内容を設定する必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会利用については、施設の機能・規模に見合う範囲で受け入れている状況である。建替えにあたっては、総合体育館など他施設との役割分担を整理し、市民体育館の役割に応じた施設の規模・内容を考えていく必要がある。 						
<p>市民や利用者の ニーズより</p>	<p>市民や既存利用者の意見・要望を反映させていく必要がある</p> <table border="1" data-bbox="384 869 1412 1328"> <tr> <td data-bbox="384 869 496 1003"> <p>市民</p> </td> <td data-bbox="501 869 1412 1003"> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで、少人数でも気軽に運動できる場に ・スポーツ教室や健康づくりプログラムなどの充実 ・災害時に一時避難できる場、備蓄倉庫の設置 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1010 496 1099"> <p>利用者</p> </td> <td data-bbox="501 1010 1412 1099"> <ul style="list-style-type: none"> ・機能や設備の充実など、サークルや団体にとって利用しやすい場に ・だれもが気軽に利用できる施設とし、教室やプログラムを充実 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1106 496 1328"> <p>スポーツ 団体</p> </td> <td data-bbox="501 1106 1412 1328"> <ul style="list-style-type: none"> ・日常練習や市民大会など、利用しやすいような各競技スペースの確保 ・フローリングや照明、空調、放送設備などの機能の充実 ・利用者や選手のための控えスペースの確保（観覧席の維持） ・事務室や倉庫、更衣室など諸室配置の工夫、利用動線への配慮 ・休日や大会開催時に対応した駐車場容量の確保 </td> </tr> </table>	<p>市民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで、少人数でも気軽に運動できる場に ・スポーツ教室や健康づくりプログラムなどの充実 ・災害時に一時避難できる場、備蓄倉庫の設置 	<p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能や設備の充実など、サークルや団体にとって利用しやすい場に ・だれもが気軽に利用できる施設とし、教室やプログラムを充実 	<p>スポーツ 団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常練習や市民大会など、利用しやすいような各競技スペースの確保 ・フローリングや照明、空調、放送設備などの機能の充実 ・利用者や選手のための控えスペースの確保（観覧席の維持） ・事務室や倉庫、更衣室など諸室配置の工夫、利用動線への配慮 ・休日や大会開催時に対応した駐車場容量の確保
<p>市民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで、少人数でも気軽に運動できる場に ・スポーツ教室や健康づくりプログラムなどの充実 ・災害時に一時避難できる場、備蓄倉庫の設置 						
<p>利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能や設備の充実など、サークルや団体にとって利用しやすい場に ・だれもが気軽に利用できる施設とし、教室やプログラムを充実 						
<p>スポーツ 団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常練習や市民大会など、利用しやすいような各競技スペースの確保 ・フローリングや照明、空調、放送設備などの機能の充実 ・利用者や選手のための控えスペースの確保（観覧席の維持） ・事務室や倉庫、更衣室など諸室配置の工夫、利用動線への配慮 ・休日や大会開催時に対応した駐車場容量の確保 						
<p>周辺環境・ 敷地制約条件 等より</p>	<p>立地条件等を踏まえた施設の位置付けを明確にする必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地条件や交通アクセス面で広域エリアからの円滑な集客が難しく、川西市の中心的な体育館としての位置付けは困難であることを踏まえて、施設の位置付け、方向性を決定する必要がある。 <p>敷地の制約条件などを踏まえた施設計画とする必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替え中の長期閉館を避けるためには、駐車場部分を建替え用地として活用せざるを得ないこと、敷地が建築基準法による日影規制の制約を受けるために建築できる範囲が限られることなどを踏まえると、現状と同等の施設規模を想定せざるを得ない。 ・厳しい財政状況を踏まえた整備・運営に係るコストへの配慮や、省エネなど環境への配慮・災害時の対応について考慮する必要がある。 						

3 建替え整備方針

課題の整理結果を踏まえ、建替え整備方針を以下の通り設定しました。

～ 市民の利用ニーズを満たしながら、

だれもが気軽に安心して利用できる市民スポーツ施設 ～

方針1 市民の日常的なスポーツ利用を中心とした体育館とする

立地や交通アクセス、敷地規模などの条件を踏まえ、市民体育館は市民の日常的なスポーツ利用を中心としたニーズに対応する体育館として位置付ける。

方針2 だれもが気軽に健康づくりを楽しめる健康増進施設とする

利用者の年齢層や、団体・個人などの利用形態に関係なく、だれもが気軽に健康づくりを楽しむことができる場をめざして、ハード・ソフトの両面からサービスの充実を図っていく。

方針3 利便性を重視した使いやすく機能的な体育館とする

現状と同程度の施設規模を想定した中で、市民や利用者のニーズ調査を踏まえ、諸室の機能や配置構成を見直すことにより、利便性に優れた機能的で使いやすい体育館を実現する。

方針4 環境への配慮や災害時の避難等に対応できる施設とする

公共施設として省エネ対策など環境配慮の設備等を導入するとともに、現状の避難場所指定の位置づけを継承し、地震時などの避難や備蓄機能を有する災害に対応した施設づくりを目指す。



4 施設整備基本計画

4-1 土地利用の方向性

4-1-1 計画地の現況把握

計画地の敷地現況について、主な特徴を以下に整理します。

< 敷地の現況 >



北側は川西緑台高校のグラウンドで高低差が約1～1.5m程度ある



東側は左図駐車場レベルより5m程度下がっている



駐車場部分はほぼ平坦で、道路からのレベル差もそれほどない



前面道路は東方向への下り坂で、境界沿いは擁壁となっている

4-1-2 土地利用の方向性

市民体育館は、利用が盛んであることから、利用者への配慮として、建替え工事の期間においても現状の体育館を利用できるような計画とします。

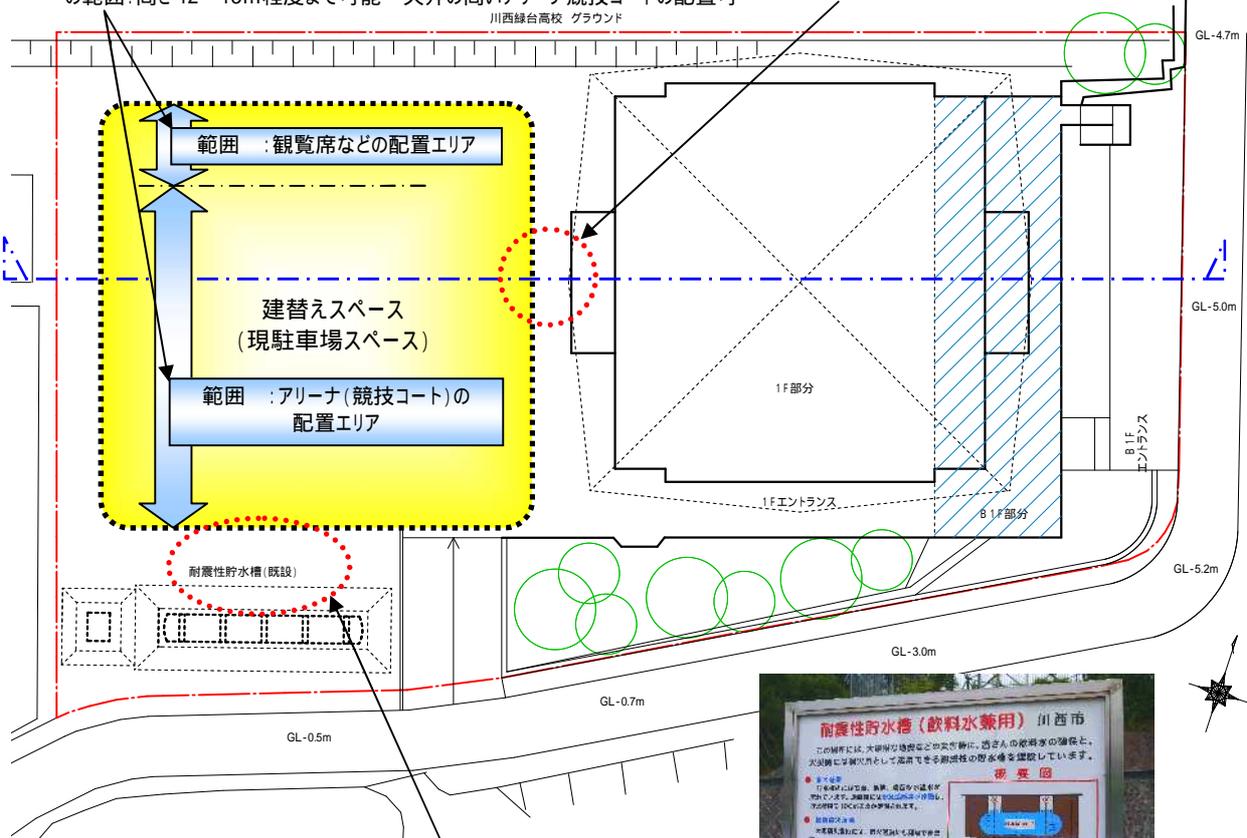
そのため、新体育館の建替え場所は現状の駐車場スペースを活用し、既存施設を残しながら整備を行う計画とします。その他、土地利用及び建物配置上の留意点を以下に整理します。

<土地利用上の留意点>

北側敷地に対する日影規制がかかるため、建物高さを抑える必要がある

- ・ の範囲：高さ9m程度までが上限 観覧席などの配置
- ・ の範囲：高さ12~13m程度まで可能 天井の高いアリーナ競技コートの配置可

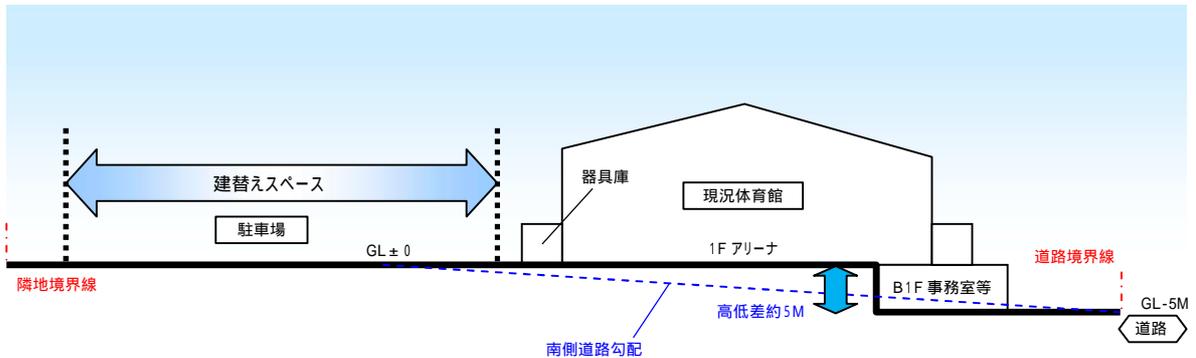
既存施設を残して利用しながら建替えを行うため、一定の距離を確保した計画とする



耐震性貯水槽が地中に設置されているため(右写真) 建物配置を避けて一定の距離をとる

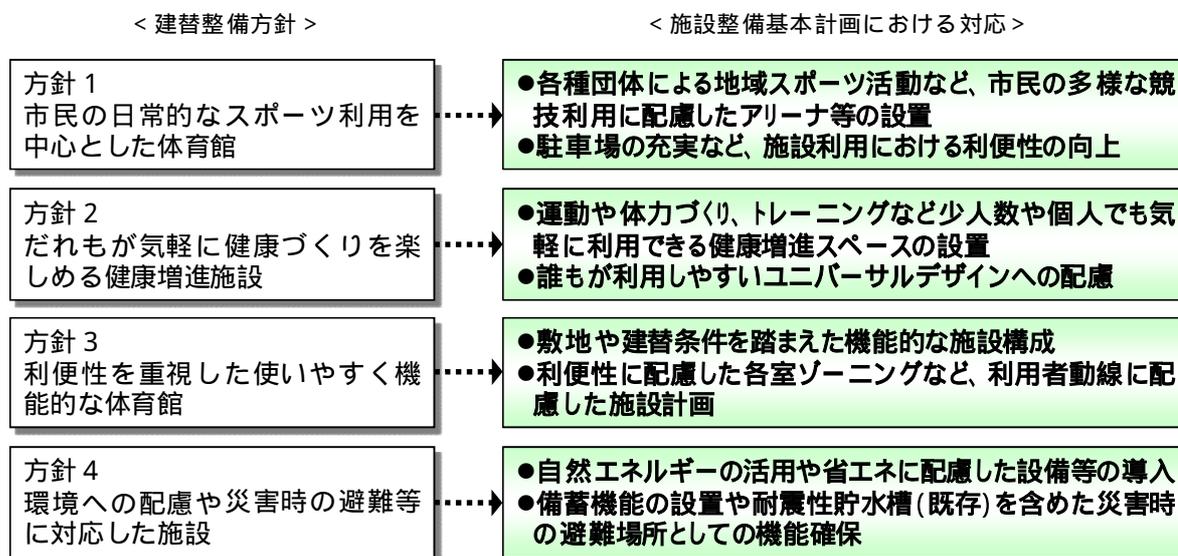


<現状の東西断面イメージ>



4-2 施設整備基本計画の考え方

建替え整備方針を踏まえ、以下に示す考え方に基づいて施設整備基本計画を行います。



4-3 各部門・機能別の基本計画

アリーナ

- ・現況(26×36m程度)と同等以上のアリーナ面積とし、各種競技コートが可能な計画とする。
- ・地域の大会など利用者や家族等の観覧に対応した席を2階に設置するとともに、選手のための控え席スペースを1階に確保する。
- ・器具庫及び倉庫は現状規模より広く確保し、各種運動器具や備品等の保管、出し入れに配慮した配置とする。
- ・アリーナの床はフローリング(体育館用)とし、天井高さはバドミントンの競技ルールに対応した12mを確保する。
- ・熱中症予防に対応した空調設備や、照明、音響(放送)設備を設ける。
- ・ステージは設置しない(ダンス等に利用する場合は備品の可動ステージで対応)。

武道場

- ・専用の武道場スペースを設ける。
- ・正方形で50畳(約9×9m)が確保できる畳敷きの空間とする。

多目的運動室

- ・スタジオ機能を持たせて、フィットネスやエアロビクスなどの利用が可能な計画とし、規模は、100㎡程度(50㎡×2室)とする。
- ・床をフローリングとし、2室に分割できる計画とし、他の軽運動などにも利用できるようにする。

トレーニングルーム

- ・体力測定や筋力トレーニング、フィットネス器具等の健康増進に対応した設備(備品対応)を設けて、個人でも気軽に利用できるスペースとする。
- ・トレーニングルームの規模は100㎡程度とする。

会議研修室

- ・各種競技団体の定期的な会合や、大会時の審判控室、各種研修等に利用できる専用の会議研修室を設ける。
- ・2室に分割可能とし、一体利用で50名程度が利用できる面積とする。

更衣室・事務室等

- ・男女別の更衣室・シャワー室を1階の利用しやすい位置に計画する。
- ・男女別のトイレ、多目的トイレ（身障者対応）を各階に計画する。
- ・事務室は利用受付や管理のしやすいレイアウトとし、医務・休養室を設ける。
- ・エントランス（下足コーナー）やロビー、階段、エレベータについて、利用動線に配慮して計画する。

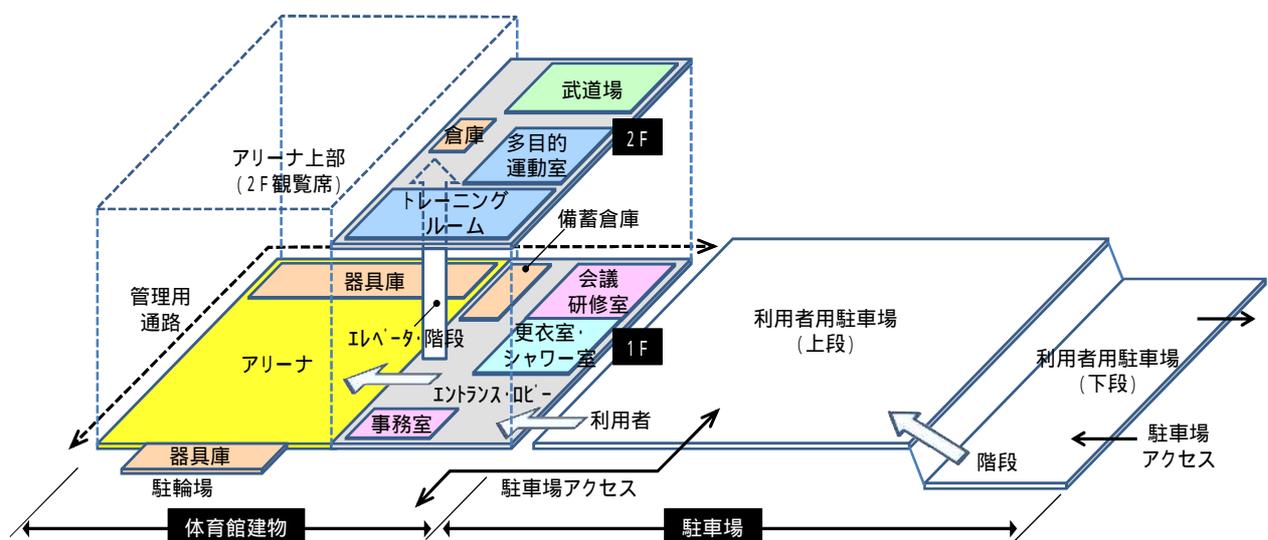
駐車場等外構施設

- ・駐車場（現状100台）は、休日等の混雑状況の解消など利用者の要望を踏まえ、利用者用として150台程度（現状の1.5倍）を確保する。
- ・近隣からの自転車・バイク利用も想定し、屋根付きの駐輪場（約50台分）を設置する。
- ・建物周囲に管理用通路を確保し、緑地や囲障等を適宜設ける。

環境配慮・災害時対応

- ・競技利用に支障のない範囲で自然採光や自然通風を確保する（照明、空調負荷の軽減）。
- ・自然エネルギーの活用（太陽光発電や雨水利用など）、省エネ対応の各種設備を導入する。
- ・アリーナなど災害時の避難場所として、高齢者や障がい者等にも配慮した機能や、自然災害時の浸水等や停電時に対応する発電設備を設けた備蓄倉庫の設置、敷地内の既存耐震性貯水槽（飲料水兼用）を活用する。

<機能構成イメージ図>



4-4 施設整備費の概算

施設整備費は下表の通り、約 10 億 6,500 万円を想定しています。

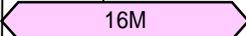
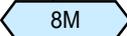
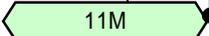
< 概算整備費 >

費 目		金 額
新築工事費	体育館本体工事費	約 780 百万円
	外構工事	約 167 百万円
	小計	約 947 百万円
解体撤去費		約 62 百万円
設計監理費	基本設計費	約 12 百万円
	実施設計費	約 28 百万円
	工事監理費	約 16 百万円
	小計	約 56 百万円
施設整備費計(+ +)		約 1,065 百万円

4-5 施設整備スケジュール

施設整備スケジュールについては、平成 28 年 8 月頃の供用開始をめざします。

< 施設整備スケジュール >

年度	H24	H25	H26	H27	H28
可能性調査					
事業者公募					
基本実施設計		PFI 導入決定			供用開始 H28.8
本体工事					
解体撤去					
外構工事					